



西郷っ子

仲間を思いやる子

自ら学び考える子

たくましくやりぬく子



「自分の命は自分で守れる子に」

校長 遠山 健二

まさかの梅雨明け、そして連日の猛暑（酷暑?!）と、私たちを取り巻く環境がめまぐるしく変化しています。6月のこの猛暑は、まだ体が暑さに慣れきっていない子どもたちに、大きな負担となっています。汗をかく経験を少しずつ重ねながら、自分で体温を下げられる体になっていくわけですが、その準備がまだ追いついていない状況で、この暑さです。

今、学校が一番頭を悩ませているのが、この暑さによる熱中症対策と、新型コロナウイルス感染防止対策を「同時に」進めなければならないことです。

新型コロナウイルス感染症、岐阜市内の園児・児童・生徒の陽性者は、4月中旬のピーク時と比べずいぶん減ってきています。しかし、岐北中校区も含め、なかなかゼロにはなりません。よって、校医・市教委の指導のもと、室内ではマスク着用を続けています。

この状況での熱中症対応です。体育の授業での活動時は、水泳はもちろん基本マスクを外すわけですが、登下校時は、暑くてもなかなかマスクが外せていない状況です。外せない理由を子どもたちに問うてみると、

「マスクがないと、やっぱりまだコロナが心配。」

「マスクなしは、恥ずかしい。何かヘンな感じがする。」

といった声が出てきます。熱中症が危険であることは分かっていますが、

この2年半近い「マスク生活」が、こうした声の背景にあると考えられます。

しかしながら、厚生労働省も発表しているように、「命」最優先で考えた場合、今は熱中症の危険の方が高いわけですので、保護者メールでもお伝えしたように、**登下校時は「傘をさしてマスクなし」**をさらに呼びかけていきます。

朝、お子さんが出かけるときに、「傘をさしてマスクなし」を働きかけていただきたいと思いますし、それを実行している児童を見かけられたら、ぜひとも褒めてあげてください。

どうかよろしく願いいたします。



【お願い】

①9/1（木）地域別グループ登校にご協力願います。

学期の初日（1学期は2週間）は、地域別グループで登校します。大きな災害や事件が発生したような緊急時に、児童だけでも動けるように、仲間や地域の状況を確認する貴重な場です。朝の集合時の声かけ等、保護者の皆さんに是非ともお助け願いたいです。よろしく願いします。

②猛暑の中、下校時の見守りもお助け願えるとありがたいです。

毎日の登下校において、地域の「見守り隊」の方々が通学路の要所に立って、児童の様子を気にかけて、お声がけをいただいています。しかしこの猛暑で、ご高齢の方に熱中症の危険があるため、見守りを見合わせていただくことが多くなり始めています。それを受けて、校門まで児童を見送った職員が、そのまま通学路を見回る活動を始めていますが、校区が広範囲にわたる西郷小です。なかなか全てを見届けることが難しいです。

そこで、ご都合のつく方で結構です。お子さんの帰宅時刻前に、近所に少しでも出ていただき、児童の様子を気にかけていただけないでしょうか。どうかお助け願います。

